令和4年度　学校評価

1 本年度の重点目標

（1）開かれた学校づくりと特色ある学校づくりの推進と広報活動の充実
（2）主体的・対話的で深い学びにつながる授業力の向上と基礎学力の定着，ICT機器の利活用
（3）基本的な生活習慣やマナーの定着指導と活気ある学校づくりの推進
（4）希望進路100％達成に向けた組織的な取組
（5）清掃指導の徹底と心身の健康管理の推進
（6）4系列の特長ある教育活動の推進と地域連携の推進
（7）定期的な安全点検の実施
（8）情報社会において情報機器との安全な関係性を育成するための取組

2 自己評価

A 達成している　B おおよそ達成している　C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価	
		自己評価結果	改善の方策
学習指導（教務部）	① 基礎学力の向上	B	毎朝の「雁歌TIME」にて朝読書や基礎力養成問題集を実施し、今後も継続する。また全生徒共通問題で「伊具高Champion Ship」を行った。学習への動機付けを刺激し，今後も基礎学力の向上に力を入れたい。
	② 授業力の向上	B	研究授業の見学方法を変更し，複数の教員で研究授業を見合うことで，良い研修となった。しかし，授業者数が昨年度よりも減少したため，次年度は各教科の授業を見学できるように改善していきたい。
	③「総合学科」教育の推進と充実	A	4系列の特徴を生かした授業に取り組んでおり、各種大会や魅力発信イベントで発表をすることができた。今後も継続・発展できるように努めたい。
生徒指導（生徒指導部）	① 挨拶・身だしなみの徹底	B	挨拶は多くの生徒が自らできるようになった。生活向上委員，交通安全委員を中心とした朝の挨拶運動も多くの生徒が参加した。服装規定を守れない生徒が複数おり，各年次で対応している。
	② 安心・安全な学校づくり	A	警察署による全生徒に対する交通安全教室，スマホ教室を実施した。バイク通学者には，バイク実技講習会を実施した。また，いじめの組織的対応など職員で共有し実施している。
	③ 活気のある学校づくり	A	コロナ禍ではあったが，体育祭，文化祭を実施し，共感的人間関係の育成に努めた。また，部活動に参加する生徒も増え部活の活性化が図られている。
進路指導（進路指導部）	① 教科・年次・担任との連携によるきめ細かい進路指導	B	年次・担任と連携し，個別指導を充実させることができた。一方，教科との連携まではなかなか至らなかった。講習会等において，教科との連携を更に模索していきたい。また，開かれた進路室を目指し，生徒や担任が必要な書類の整理整頓や情報提供をより一層進めたい。
	② 生徒個々の学力の定着指導および適性・実力把握	B	課外講習を更に充実させ，個別指導等を通し，各年次において，生徒個々の進路を見通した指導を行っていきたい。また，各種テスト，検査等のデータの活用を進めたい。
	③ 進路行事の充実	B	各年次において，進路行事の内容，実施時期の検討，改善を進める。インターンシップ等の進路行事では，生徒によって取り組みに大きな差が出ることがあるため，意義が生徒に伝わるように年次，保護者とより連携していきたい。
	④ 保護者への適時・的確な進路情報の提供	B	保護者に進路学習会や，進路広報「夢を形に」の定期的な発行等によって，進路情報，学校での様子の提供に努めた。一方，「進路情報を伝える」という行為はできているが，内容を理解していただいているか，過去行事を追った内容ばかりになっていないかといった反省点もある。進路行事の意味やつながりをご理解いただけるよう，引き続き情報提供の在り方について改善に努めていきたい。

４系列の特長ある教育活動	① 農学系列の教育活動の推進	B	復旧途上の施設設備での栽培や販売活動に精力的に取り組んだ。農業クラブ意見発表や家畜審査競技等で県優秀賞を獲得，農業技術検定３級取得等の成果を挙げた。次年度以降，継続するための声がけ等の工夫が必要。
	② 機械系列の教育活動の推進	A	丸森角田の中学校での出前授業また，ゴミ集積所を製作し寄贈するなど，地域連携を推進することができた。また，プログラミングの授業の充実や産業用ロボット特別教育など社会の情勢にあわせた資格取得を行うことができた。本年度も地学地就に取り組み概ね実現することができた。
	② 情報（商業）系列の教育活動の推進	B	地域イベント参加や校外での学習活動に力を入れ取り組んだ。特に3年次においては課題学習や総合実践において、 地域における役割を探求することができた。次年度も地域の協力を得ながら有意な社会人を育成できるよう取り組みを強化していきたい。
	③ 福祉系列の教育活動の推進	B	介護職員初任者研修の希望者10名全員が修了できた。また「防災プロジェクト」では、子どもたちの防災意識向上を目指して手作り紙芝居を作成し「丸森たんぽぽ子ども園」で披露した。今後とも地域の中での活動を続けていきたい。
地域学校づくり（総務部）	① 地域への学校情報発信の充実	B	雁歌学報の定期発行や丸森町などへの配布，HPでの随時の発信は定期的に実施できた。校内・校外の行事で外部の報道を呼び，新聞・TV等に取り上げられる機会が増えた。
	② 地域と連携した教育活動の推進	B	体験入学の機会を増やし，中学生が伊具高校への関心を増やすことができた。
	③ PTA活動の充実と同窓会との連携	B	コロナ禍のため限られた中での活動であったものの，年次始めの段階で予定していた行事については実施することができた。中でも伊具高祭でのキッチンカーの販売などは盛況であった。